

ハンドボール

No.68

Japan
Handball
Association



- 社会人
- 学生
- 高専
- 高体連
- 中体連
- 小学生
- 成年女子

- 全国大会
- ブロック大会
- 都道府県大会

- 男子
- 女子

試合
番号

A-か

年月日	2023年10月9日(月)
大会名	特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体 ハンドボール競技

公式記録用紙

A		東京都					大阪府					B													
部道府県	市町村	霧島市		会場	霧島市国分体育馆						回数														
鹿児島県											2回戦														
前半	A 16	B 11	最終結果	A 26	B 22	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mスロー コンテスト	A	B											
		A	チームタイムアウト						チームタイムアウト			B													
7m得点/総数	3/4	1	2	後	3				1	2	前	3	2/2	7m得点/総数											
		2413						1728																	
No.	東京都					G	W	2'	2'	D	DR	No.	大阪府					G	W	2'	2'	D	DR		
1	矢島 雪月花											1	泉 幸歩												
2	藤澤 舞子					6		1	1			2	奥山 夏帆								1				
3	加藤 晴桜											3	平田 ほのか					5							
4	杉田 瑞海					4						4	八木 和紗					5			1				
5	初見 巴菜子					1						5	成松 沙弥佳					1							
6	荒井 美咲					7						6	高木 朔来												
7	有隅 晴香											7	八坂 英里奈					2							
8	平山 夏穂											8	笠松 もむ					1			1				
9	千川 華音					1						9	上田 遥歌					3							
10	吉田 七夕子					4						10	東江 華奈					4							
11	小山 歩夢					3						11	矢野 結菜					1							
12	遠藤 汐里											12	木下 舞香												
監督A		八尾 泰寛					監督A		山川 由加																
役員B		加藤 晴桜					役員B		田中 美音子																
							役員C		川崎 美穂																
							役員D		橋本 健太																
A	1/2年春負					チーム役員A署名					山川 由加					B									
特記事項																									

レフエリー	神田 史郎	田上 大介	神田史郎	
TD	廣森 健太郎		廣森健太郎	
MO	富田 拓		富田拓	

得点(G), 警告(W), 退場(2), 失格(D), 報告書付吉失格(DR) 特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール

No.71

特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体 ハンドボール競技 試合結果・戦評報告書

競技日	10月 9日(月)	試合番号	A-か	回戦	2
種 別	成年女子	会 場		霧島市国分体育館	

Aチーム名			Bチーム名		
東京			大阪		
得点合計	小 計		小 計		得点合計
26	16	前 半	11		22
	10	後 半	11		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦 評

大阪のスローオフで始まった試合は東京⑪小山がカットインで先制し幕を開けた。すぐさま大阪は⑩東江のカットインで取り返す。両者固いディフェンスで簡単に得点を許さない展開の中東京は⑩吉田のロングシュートなどで得点を重ねていく。対する大阪も速いパス回しで攻めるが東京のディフェンスをなかなか崩しきれない。前半お互い点を取り合う展開が続いたが中盤から東京が堅守速攻で得点を重ねていく。なんとか流れを変えたい大阪はタイムアウトを請求。タイム明け直後大阪は多彩なパス回しから③平田のカットインで得点を挙げる。このまま波に乗りたい大阪だが東京の固いディフェンスに阻まれ東京の連続得点もあり16-11で前半終了。後半立ち上がり大阪は好守からの速攻で相手の退場を誘い⑩東江が7mTで得点。その後大阪③平田のカットインなどで連続得点を挙げ追い上げを見せる。流れを取り戻したい東京だが大阪②木下がファインセーブを見せ得点を許さない。お互い点を取り合う展開となる中東京は⑩吉田のロングシュート、⑥荒井の速攻で再び突き放しにかかるが大阪も堅守からの速攻で食らいつく。お互いのディフェンスの堅守、キーパーの好守でしばらく膠着状態が続く中お互い少ないチャンスを得点に結びつけ一進一退の攻防が続く。この状況を打開すべく東京はタイムアウトを請求。タイムアウト避け速い展開の攻撃から⑤P V初見が得点し引き離しにかかる。対する大阪も速いパス回しで攻めるがなかなか得点に結びつける事が出来ず。一方東京は終始固いディフェンスを崩さず、粘る大阪を振り切った。

	記載者氏名	江夏 広樹
	送信日時	10月 9日(月) 18:15